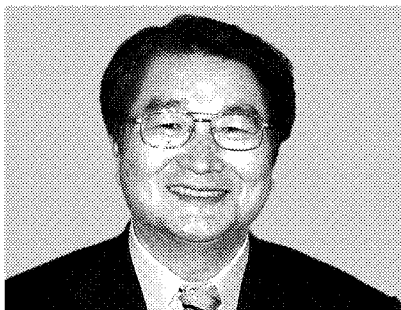
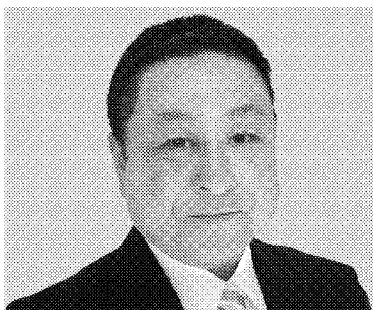




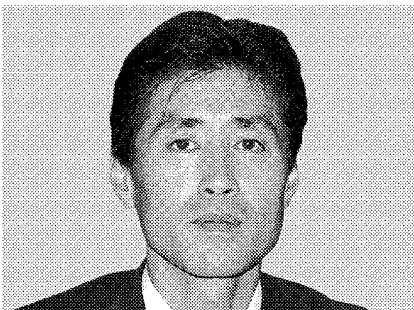
(株) システムエグゼ
代表取締役 佐藤 勝康氏
東京都中央区新川2・1・5

吉村貫一郎は貧しさゆえに南部藩を脱藩し、壬生狼と恐れられた新選組に加入した。北辰一刀流を学び、その腕前は剣客がひしめく新選組にあってなお抜き出ていた。しかし、撃剣師範にありながら人斬りを好まず、真摯な交渉役の理論派剣客として幕閣・薩長双方にその名を馳せた。得意とするテーマベース技術をベースに自社開発製品を提供。セキュリティ対策や開発・運用を支援するソフトウェア製品群で、この分野の第一人者たる信用を築いている理論派企業。業務パッケージ商品『EXE-EX』シリーズの評価も高く、現場主義で磨き続けた技術力によって多岐の顧客にその名を馳せている。



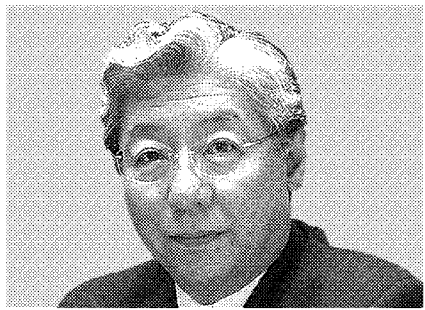
ベストパック(株)
代表取締役 荻上 穂氏
東京都代田区岩本町2・4・3

山南敬助は北辰一刀流の千葉周作門下で免許皆伝の剣客。好學にして温厚、まさに文武両道の俊英で新選組創設期を支えた中心人物だ。剣術・柔術を極め各地の道場を訪ねるうち、近藤と立ち合いその剣技と人柄に魅せられ試衛館の食客となった。土方とはひと味違った副将である。食品包装材・食肉包装資材・食品包装システム・包装機等、食の安心と安全を根拠として支えている業界免許皆伝。1979年設立以来の実績と信用を踏まえ、共同開発で豚肉真空包装システム「BPAVACシステム」を生み出すなど、単なる商社とはひと味違った、創る機能の鍛錬もまたその企業力安定の秘訣だ。



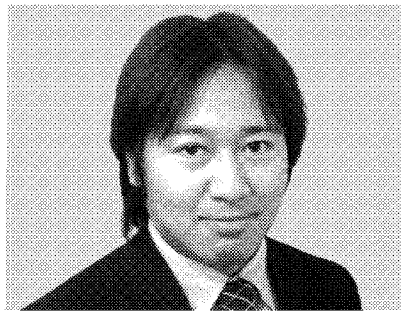
(株) リアライズ
代表取締役 橋本 晋一氏
東京都代田区駒込町2・3・2

土方歳三は多摩の豪農に生まれ、たが幼時より武士になることを熱望した。幼馴染みの近藤勇と共に京上り新選組を結成するが、新選組は土方あってこそ組織だった。経緯はどうかあれ、その場所が生きた人間の運命として果敢に闘い、誠を貫き通したゆえに土方人気は今も高い。賃貸オフィス仲介業務に特化した業界信頼度No.1企業。どんな時代にあってもオフィスは、企業活動における城であり本陣だ。同社は仲介業務を情報産業・サービス産業として捉え、ビルオーナーとテナント企業双方から厚い信頼を得ている。物件情報「量」と「質」にも定評あることで、社員一人ひとりの士気も高い。



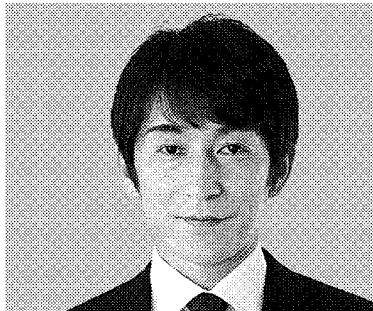
ふそう陸送(株)
代表取締役社長 磯部 芳治氏
神奈川県川崎市幸区南島3・6・44

近藤勇は小石川小日向柳町に試衛館という畳二十四枚ほどの小さな道場を構えて、天然理心流剣法を教えていた。あくまで剣一筋の武闘型で、その正直さ、潔癖さ、単純朴訥な人柄に、土方歳三、沖田総司、永倉新八らの剣豪が魅せられ、後に新選組を形成して武士道を買った。三菱ふそうのトラック・バスを運ぶ陸送部門と、ロケットエンジンや自動車部品からビルなどの日用品まで様々な商品を運ぶ運輸部門という2つの輸送形態を持つ総合物流企業。全国各地に広がる拠点を核にした「ふそう陸送ネットワーク」で多くの信頼を築き、昭和30年の設立以来、まさに、運送道、を貫いている。



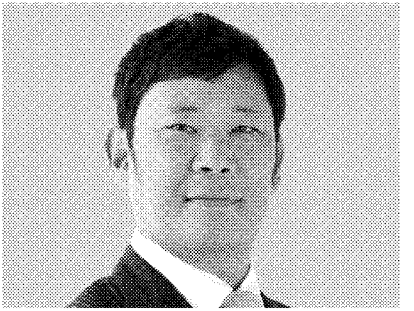
(株) レグザイオン
代表取締役社長 竹内 崇氏
東京都渋谷区渋谷2・19・15

藤堂平助は種々雑多な経歴の持ち主が多い新選組隊士の中にあって、伊勢・津藩三十二万石の御落胤という興彩の剣客。北辰一刀流玄武館に学んだ目録取りの腕前で、池田屋襲撃の際も真っ先に斬り込んだ。常に先頭に立つて戦うので、魁先生と隊員から異名された生え抜き隊士。スマートフォン・モバイルシステム開発の正統派ベンチャー企業。携帯サイトマーケティングのすべてを網羅した最強の戦略的効果的ソリューションを提供、モバイルビジネスを成功に導くスタンダードとして定着しつつある。いかなる局面にあってでも積極果敢、常に先頭に立つての「魁企業」として邁進する覚悟だ。



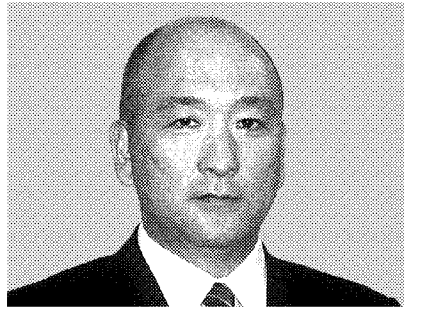
ユミルリンク(株)
代表取締役社長 清水 亘氏
東京都渋谷区恵比寿4・3・8

沖田総司は試衛館の塾頭で師範代を務めた剣の申し子。若輩だが近藤勇の弟弟子で、その剣法は国士無双と評された。土方歳三、井上源三郎らの生え抜き、北辰一刀流の目録・藤堂平助や千葉道場免許皆伝の山南敬助さえ、みんな竹刀をもっては小児扱いにされたという天才剣士だ。インターネットシステム・サービスの開発を行うIT社会の申し子。中でもメールメッセージング製品・サービスは、企業と消費者のコミュニケーションを実現する手段として、数多くの企業から国士無双の評価を得ている。同社のメール配信ソリューション「Cuecode」は、メールマーケティングの免許皆伝である。



(株) J.C.O.S
代表取締役社長 松本 健氏
東京都代田区大田町1・7・2

斎藤一は剣豪揃いの新選組の中でも、その腕前が難しと目置かれた三番隊隊長。鳥羽・伏見の戦いの後、一口伝八と名乗って会津での戦いに参加した。旧幕府が仙台への戦艦を主張する中、斎藤は会津での戦いに参加した。維新後は藤田五郎と改名して警視庁に入り、西南戦争でも戦った。大手業者がひしめき合う引越業界にあって「ZERO引越センター」は圧倒的な低価格と強力サポートで、その腕前が難しと目置かれていた。新進鋭。同社の強みは通信事業をもう一方の軸とし、通信と物流のハイブリッド企業である点だ。そのシナジーによる新しい価値創造が成長に弾みをつけ、東日本・西日本に拡大中。



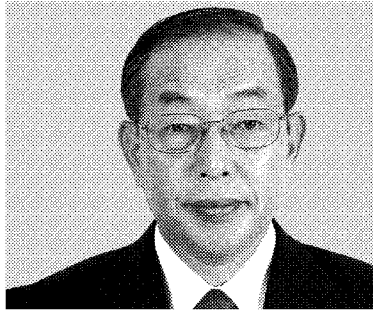
(株) トライサイブ
代表取締役 庄司 文明氏
東京都豊島区池袋2・14・4

永倉新八は沖田総司、吉村貫一郎、斎藤一とともに抜群の剣の腕前を誇り、近藤四天王と称された。池田屋事件では近藤勇、沖田総司とともに奮戦した剣豪だ。短命に終わった隊士が多いなか、その後、辰辰の戦いをくぐり抜けて新選組の語り部として明治を生きた抜群の語り部である。ソフトウェア開発及び業務アプリケーション作成、開発環境構築技術サービスの専門集団。常により高度な技術にトライ、良質の満足を提供するためのサービス向上に余念がない。社員一人ひとりが切磋琢磨し、ながら腕(技術力)を競い合い、しかも抜群のチームワークをもって、たゆむことのない前進を続けている。



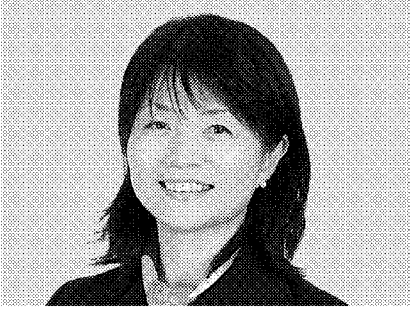
(株) マリノ
代表取締役 伊藤 裕昭氏
神奈川県横浜市中区新橋2・2・8

川崎尚之助は但馬国山崎に現在の兵庫豊岡市出身の有名な洋学者で、蘭学と密着(化学)を修めた。江戸の佐々木家山崎で知り合った山本寛馬と意気投合し、会津へやってきて山本家の居候となる。その後、八重と結婚。会津藩城下では大砲隊の指揮を執って弾丸作りに助んだ。ソフトウェアプロダクトとインフラシステム、ソリューションを事業の3本柱とし、クライアントのニーズに応える幅広い提案、提供を行っている。社員一人ひとりが高い技術力を有しながらも決して妥協をせず、常に一歩先を目指して真摯さが同社の原点だ。最高の組織の実現を目指し一丸体制に地味はない。



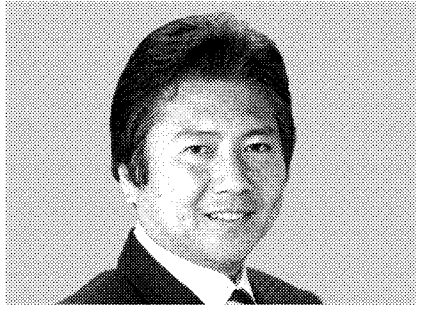
(株) 城南建材社
代表取締役社長 鬼丸 卓哉氏
東京都世田谷区喜多見3・1・1

佐川官兵衛は剣術・馬術と歌道に秀でた文武両道の達人。人情に厚く、部下や領民から慕われた。鳥羽・伏見の戦いで会津最強の武士として奮闘、敵方からは「鬼の官兵衛」と恐れられた。降伏後も納められずと戦いを続行し、松平容保が親書を持たせて説得したという一本気の志士だ。小型の土木建設機械、車輛、仮設資材のレンタルを通して、豊かな地域社会づくり、便利で快適な社会インフラの建設に寄与している志士企業。自らの工場・モータープールをクライアントの資材、機械置場として考え、安全・安心をモットーとするサービス体制が信頼の基盤だ。新しい機械と万全の整備も見逃せない。



(株) アンゼロ
代表取締役 土井 明美氏
東京都代田区外神田2・1・6

神保雪子は会津藩士で藩校日新館の講師を務めていた井上四郎の嫡家の家柄で軍事奉行添役。神保修理と結婚し、周囲ももうやむほどの大姉仲だった。修理は鳥羽・伏見の戦いで敗戦の責任を背負い切腹。会津戦争で姫子軍に加わり雄刀を賣った。キメ細かなサービスで企業と求職者のベストマッチを導く人材の水先案内人企業。人と企業双方を知り尽くした上で、の橋渡しとして同社の真骨頂であり入社後のトラブルも未然に防いでいる。また新事業「HOT Tab」(重炭酸とクエン酸入浴剤)の販売でも持ち前の行動力とサービスが功を奏し、実績も続々とだ。



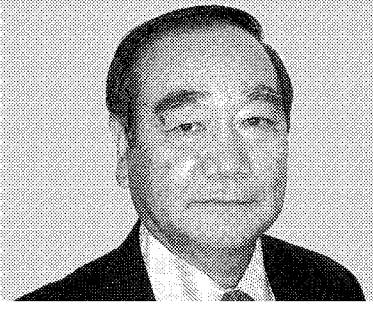
JAPAN プレミアツアー
代表 山本 浩史氏
東京都代田区外神田2・1・6

神保修理は藩校日新館創設以来の秀才と謳われ、海外事情にも通じていた会津藩軍事奉行添役。上洛後、藩主・松平容保を寝食を忘れて支え、鳥羽・伏見の戦いで薩長の勢いと天運を感じ、徳川慶喜に恭順を説いたが受け入れられず慶喜は江戸に敗走。藩内の怒りの矢面に立って自刃した。プロならではの知識とネットワークを駆使し、国内・海外個人・団体といったあらゆるジャンルを手がける総合旅行コンサルタント。旅行を希望する人それぞれにニーズに合ったキメ細かな提案が、大手旅行代理店とはひと味違う特徴だ。中では社員研修会、海外視察など、イベント企画・運営で際立った評価を得ている。



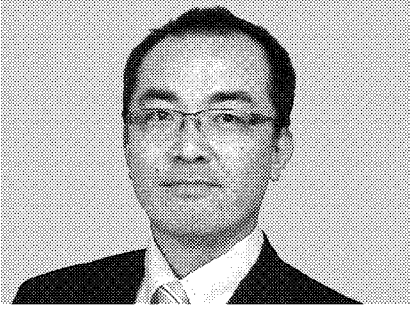
SERENDIPITY
代表 大久保 法子氏
東京都豊島区南青山3・2・3

大山捨松は会津藩城下、明治政府が派遣する日本初の女子留学生の一人に選ばれた才色兼備。母親はわずか十二歳で旅立つ娘に、「捨てたつもりで待つ」との思いを込めて改名させた。帰国後、津田梅子らと女子教育の普及に注力。「鹿鳴館の華」と称された美貌は明るい、光の象徴だった。健康と美容にこだわったオーガニックライフ。「医食同源」の言葉が表すとおり、食は健康維持、促進の根幹であることを広めるべくこの春オープンした。食材を吟味し、美味しさはもちろんのこと食への人の健康を考え、一品一品心を込めて提供している。「健康と美容の華」にふさわしい食の満足空間だ。



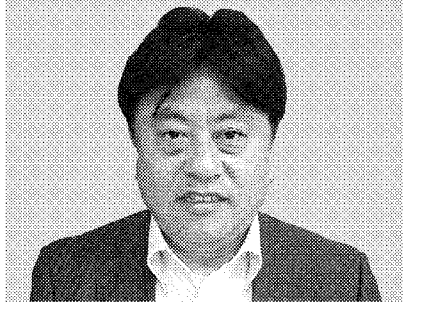
(株) ウイツ インテグレーション
代表取締役社長 赤木 健一氏
東京都豊島区東池袋3・4・3

内藤介右衛門は会津藩平家の縁戚にあたる会津内藤家の総領で、家老職にあっては会津の重鎮。会津戦争では陣將を務め一軍を引き連れ強行入城を果たす。維新後、斗南に移住し開墾した田は内藤田と呼ばれ、五戸で松塾を開き漢学を教えた。門下より徳を慕われた文武両道の才である。経営参謀支援サービスとシステムインテグレーション・サービスを武器とする傑作企業。経営&ITに関するトータルソリューションに磨きをかけ、コンサルティングの強化や経営効率向上コスト低減など、経営の各局面で参謀、便利屋として存在価値を高めている。才知を統合してウィット(Wit)に富み興す。



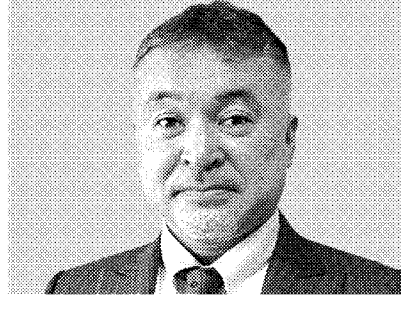
(株) コンフォート スペース
代表取締役 八木 健一氏
東京都中央区日本橋兜町11・11

萱野権兵衛は会津戦争で糧食の確保に奔走した徳義家老。新政府軍務官より「戦争の首謀者」を差し出せば、前藩主の死罪を赦すとの達しを受け、自らその全責任を取った。気骨の士でもある。松平寛徳より、葵紋の付いた衣服一式を贈られたが、怒れ多いと言って固辞した沈着の人だ。商業施設クリニック、ホテル、オフィスなどの内装工事、什器製作、特注家具製造に奔走。難しい注文案件にも最適な企画と提案を実現化し決して出来ないと言われないオンラインワンストップとして信頼を築いている。簡単な仕事こそ丁寧に誠意を注ぎ、当たり前の事を必ず当たり前に完遂する気骨のサムライ魂だ。



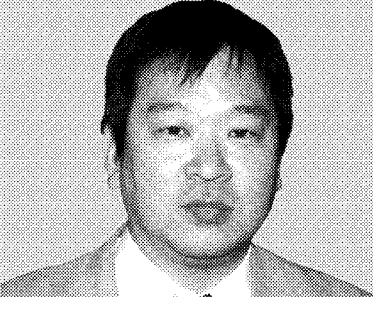
日本パワーブレイク(株)
代表取締役 櫻村 勲氏
神奈川県厚木市歌山2・4・53・9

西郷四郎は十六歳のときに会津藩家老の西郷頼母に見出され養子となった。維新後、上京して相馬治五郎の講道館に入門。豪快に相手を投げける山風を編み出した柔道界の花形と注目された。講道館四天王の一人として近代柔道の礎を築き、小説「姿三四郎」のモデルとなっている。1972年の設立以来、多くの信用を築いてきた建設機械用、産業用専門フレキシモーター。米国最大手・カライ社との傘下となつてからはさらに強固なグローバルネットワークと可能により高度で緻密なサービスを提供している。日本とアメリカの技術を集結したグローバル企業の成功モデルとなっている。



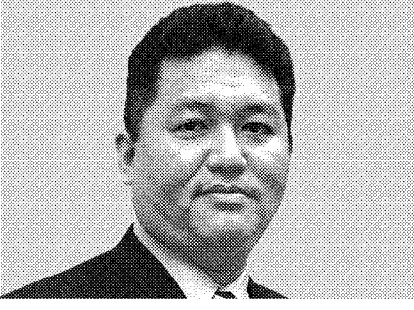
(株) 三幸設計
代表取締役 松本 浩一氏
神奈川県横浜市中区大町3・24

田中土佐は西郷頼母とともに容保の京都守護職就任を反対した家老。当初は断固反対の姿勢で臨むが、藩祖・保科正之公以来の家訓を守り、徳川家に尽くすという容保の決意を知って、藩主のために身を捧げることを心に誓った。藩と藩主に忠誠を貫き通した会津藩士としての心。ビル・マンションなどの大規模修繕工事のトータルサポートに強みを持つ設計コンサルタント。居住者や所有者と深い信頼関係を築き、まさに、身を捧げる。が如く親身になってより暮らしやすい環境づくりを提案。既存建築物に付加価値を与える。ストックアンドリニューアルを支えている技術者集団である。



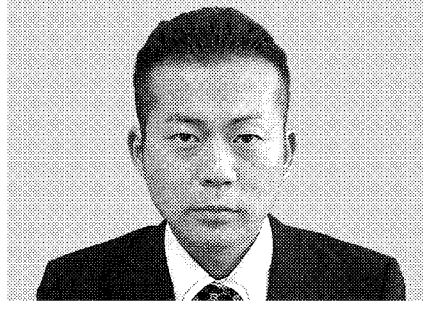
(株) リテルサポート
代表取締役 山内 三郎氏
東京都代田区岩本町1・3・3

山本三郎は寛馬、八重の末弟で、砲術師範家の男子として幼少より鉄砲に魅れていた。鳥羽・伏見の戦いで大砲隊に所属し、失明した兄・寛馬の教えを守り奮戦するも被弾。髪を断ち三郎の袴を着け男装した八重は弟の意を継いで戦い抜き、敗れ投降した折は自ら山本太郎と名乗った。「進化型万引き動作検知カメラシステム」サポークンで一世を風靡。映像解析で不審者をいち早く検知できるためGMS、大手CD店、レンタルショップ、大手書店、大手ドラッグチェーン等から圧倒的な信頼と話題を呼んだ。小売業の商品ロスの総合的な削減と、新たな利益創出の支援のために努力を怠らない。



東京プロビジョン(株)
代表取締役 都倉 健太氏
東京都立川市錦町3・2・25

林権助は槍や剣術で会津藩に向かう者なしと謳われた武士だが、西洋砲術が優れていることを知るとこれを学び、保守的な藩論を西洋砲術導入に転換させた先賢。やがて、大砲奉行に就任し上洛し、禁門の変では山本寛馬とともに大砲隊を率いて活躍した会津の先陣大将だ。保険会社のベテランOB・OGが中心となって構成され向かう者なしと言われるほどの信用実績をもつ保険代理店の理想像。それでも決して慢心することなく地道に誠実にユーザーの要望に添えている。常により良い商品を選び、損保・生保からFP相談、セミナーまで、質の高いサービスと心配りが基本理念だ。



東電池(株)
代表取締役社長 東 長太氏
東京都荒川区南住6・57・12

松平定敏は京都守護職にあった兄・容保を助けるため、敢然として京都所司方の重責を引き受けた養子藩主。旧幕同盟軍の中核として北越会津を駆け回り、攻め寄せた新政府軍に屈せず勇戦。榎本武揚の旧幕府艦隊に身を投じて箱館へ渡り、理不尽な敵薩長に対して断固戦い続けた勇將だ。電源システムや照明機器の販売から保守・運用までを攻守の要としている。「ジーエス・ユアサ」の有力特約代理店であり、1918年(大正7年)創業という筋金入りの老舗企業だが、その会社構成、積極果敢な感性はまるでベンチャーが如きの清新さだ。「安心・安全・省エネ」の時代の趨勢に乗り、伸展の歩幅は大きい。